

ゴミ処理の問題も深刻です 温暖化防止との同時対応が困難

—日本も含めた世界各国の温暖化を防ぐための対応・対策を、先生はどのように見ておられますか。

石川 京都で行われたCOP3の時には大気環境学会に参加し、色々話し合いました。環境省にも知人が数多くおり、その様子を見聞きしていますが、温暖化防止を具現化するのには至難です。ほんとうの意味での対策と国際交渉の双方が必要であり、ともすると国際交渉にウエイトが置かれがちになる。各国の利害がぶつかり妥協点が見出せない。たとえば、先進国が防止のための一定基準を守ったとしても、基準のない発展途上国が大量に出してしまつた場合、現実的な点で意味をなさないわけです。たとえば、中国などの人口の多い国の生活水準が上がれば、みんなが自家用車を持つようになれば、凄いいことになります。先進国でも産業は基準を順守しても、それぞれの国民の生活水準を落とすことは、まず困難でしょう。また、仮に生活にある程度犠牲にできたとしても、これまで大気に放出してきた二酸化炭素は残るわけですから、まだまだ温暖化傾向は続きます。酷暑に冷房を切つて過ごせるでしょうか。石油そのものが枯渇するという予測もあります。それはこれまでの油田に基づくもので、南極大陸など手つかずの地域を掘れば、また新たな油田が見つかるはず

です。それを使わずに、備蓄などに回せばよいのですが、果たしてできるでしょうか。現実的な眼で見れば見るほど八方ふさがりの状況です。もちろん、悲観論だけではいけないのですが、この現実をしっかりと見据えなければ、次へは進めないのです。

—温暖化のほかにオゾンホールや酸性雨の問題、ゴミの処理など環境問題はいくつもありますが、温暖化以外で先生が特に注視しておられる問題は何でしょうか。

石川 オゾンホールではジェット機が吐き出す窒素酸化物が問題ですね。これが成層圏に広がっています。たとえば、行かれた方は体験しておられると思います。ドイツの飛行場の上空などは大都市のターミナルなみに混雑しています。着陸するまで長時間待たされます。その間にも窒素酸化物がエンジンから吹き出しているわけです。ヨーロッパの上空、欧州と米中間、日本や香港の上空の混雑は大変なものです。これからジェット機は

増える一方です。簡単に燃料を他のものにするというわけにもいかない。ゴミ処理の問題も深刻です。世界的にはほぼ同じ状況です。もう捨てる場所がない。経済成長のネックになると思います。リサイクルでゴミを減らすとなると、それに使う新たなエネルギーが必要になります。これが温暖化施策の妨げになる。この双方を推進するのは神業です。これまでにないクリーンエネルギーを生み出すしか、ほんとうの意味での解決策はないと思います。原子力も廃棄物と事故の問題を抱えていますので…。

子どもたちの子どもたちのために いま私たちができることを

—お話を聞きしていると実に困難な課題であり、しかもきわめて深刻な問題であることをあらためて実感しますが、私たち個人レベルではどうすればよいのでしょうか。

石川 私たちの学会でもその話はよく出ます。結論から言うと節約と節減ですね。これ以外にはちよつと考えられない。最近環境への関心も高くなり、日々の生活の中で具体的な対応が定着してきたように感じます。これは非常に望ましいことです。ただし、生活の一定水準を落とすまで取り組めるかという点で難しい。産業界はビジネスに直結し、経営に影響するとすれば、速やかに施策を練り上げ、即応することができます。実際に大きな

転換が図られ、それなりの成果が見られます。しかし、生活の根幹に関わるような大変です。でも、ただ立ちすくんでいるだけでは、やがてとんでもない事態に陥ることだけは確かです。まだ、私たちの世代は「酷暑だ、異常気象だ」と言っていれば、なんとか時が過ぎていくかもしれませんが、子どもたちや、その子どもたちの時代のことを思うと、恐ろしくなります。真夏には外出できないといった状況がそんなに遠くない未来に起こるかもしれません。たとえば、私の友人たちは補助金をもらつてソーラーシステムを取り入れています。いまのところ新築でない負担が多過ぎるようですが、電気は蓄えることができないのでそのあたりの仕組みをどうするかという問題はありますが、これもまた個人レベルでできる施策の一つでしょう。電気は質の高いエネルギーで無駄がありません。水を飲料、洗濯、植木といった具合に使分けけるように、電気もまた使い分けを考へる時に来ている。ただし、パソコンなどは電圧を一定に保つ必要があり、すでに家電製品の多くにマイコンが組み込まれている現在、このあたりへの対処も考えなければなりません。環境NGOの活動も活発に行われています。自治体との積極的な連携も見られるようになってきました。外国のそれと比べて資金面が脆弱なように感じますが、市民個々の参加意識が高まれば、さらに大きな力になっていくと思います。

